

マレーシアをマスタートレーナー国とした東南アジア各国の労働者保障機構に対するサイバニクス治療に関する臨床技術の強化及び資格者育成事業

CYBERDYNE 株式会社

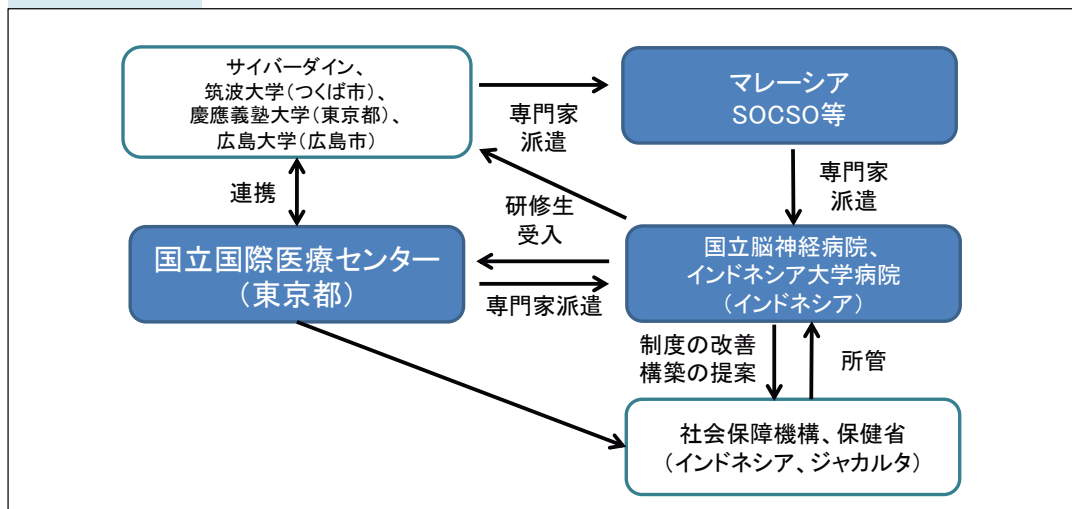
事業名: マレーシアをマスタートレーナー国とした東南アジア各国の労働者保障機構に対するサイバニクス治療に関する臨床技術の強化及び資格者育成事業**実施主体: CYBERDYNE株式会社****対象国: インドネシア共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国、マレーシア****対象医療技術等:** ①医療技術、医療機器 (HAL, Cybernics Technology) ③医療制度(リハビリテーションの保険適用) ④注目を集めつつある国際課題(リハビリテーションに関する人的リソース不足)**事業の背景**

インドネシアや東南アジア諸国では、生活習慣病や外傷によるリハビリ需要が数百万規模で増大しているが、施設や専門員の不足により社会復帰が困難な状況である。これに対し、弊社のHALとマレーシア・日本の実績に基づいたリハビリパッケージを導入することで、限られた人的リソースでも均一かつ効率的なリハビリが可能となり、国レベルでの質向上が期待できる。

事業の目的

インドネシア、タイ、ベトナムの主要病院や公的機関を対象に、HALとリハビリプログラムをパッケージで導入する。日本の知見とマレーシアの成功事例を基にしたトレーニングを実施することで、広大な国土で均一かつ効率的なサービスを提供し、高い就業復帰ニーズに応える。3年間の事業終了までに、インドネシア(BPJS)や各国の直轄センターへの導入を完了させ、インドネシアでは公的医療保険(BPJS)の適用実現を目指す。

実施体制



研修目標

- 日本のリハビリテーション制度、HALの技術の学習(実技習得)
- 効果的なリハビリ計画作成の学習
- 政府保健省管轄病院へのHALのレクチャーの実施と保険適用の打ち合わせ
- 各国マスタートレーナーによる現地トレーニングのサポート
- サイバニクス治療に関するセミナー開催

1年間の事業内容

令和7年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
研修内容										
インドネシア国立病院グループ向けセミナー			マレーシアより専門家1名派遣。 100名参加		日本より専門家1名派遣。 50名参加					
インドネシア Dr.PTを日本へ派遣			本邦研修 2名参加					本邦研修 3名参加	本邦研修 8名参加	本邦研修 7名参加
サイバニクス研究会実施(日本、マレーシア)			本邦研修 20名参加	日本より専門家を1名マレーシアへ派遣 30名参加						
インドネシアにおけるHAL治療計画研修			マレーシアより専門家1名派遣 3名参加		日本より専門家1名派遣 3名参加					
ベトナムにおけるHAL研修								日本より専門家1名派遣 10名参加		日本より専門家1名派遣 5名参加
インドネシア保健省へのHAL検証報告					日本より専門家1名派遣 25名参加					
タイ保健省参加のIGMへHALの研修								日本より専門家1名派遣 10名参加	日本より専門家1名派遣 5名参加	タイからマレーシアへ派遣 5名参加

事業時の写真

マスタートレーナー研修(Dec. 2025)



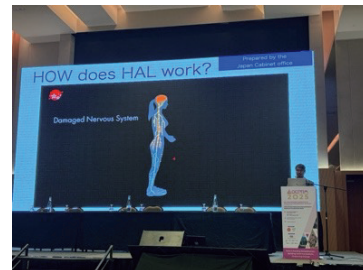
タイ保健省 マレーシア研修(Feb. 2026)



インドネシア保健省傘下病院セミナーでの講演(Sep. 2025)



マレーシア国際学会時のサイバニクス講演 (Aug. 2025)



今年度の成果指標とその結果

	アウトプット指標	アウトカム指標	インパクト指標
実施前の計画	<p>①マスタートレーナー研修 インドネシア、フィリピン、ベトナムの医療従事者計20名をマスタートレーナー候補として選定し、集中的にトレーニングを実施します。HALの基礎技術と各国に適した治療計画の習得により、理解度を50%から100%へ引き上げることを目標とします。</p> <p>②国際サイバニクス研究会開催 日本・マレーシアに加え、東南アジア3カ国の医療従事者による講演を企画し、積極的な知識習得と現場での実践を促進します。理解度を50%から100%に高めるとともに、HAL治療を加速させる意欲の向上を図ります。</p>	<p>①新認定のマスタートレーナーが中心となり、インドネシアとフィリピンで効率的なリハビリを実施します。両国政府へ有効性や効率性のデータを提供するため、国立病院等と連携して治療計画の策定とデータ蓄積を推進。これらの活動経過は国際サイバニクス研究会で報告されます。また、マスタートレーナーが他の公立病院の医療従事者へ計6回のトレーニングを実施し、HAL習熟者を合計60名養成することを目指します。</p>	<p>①国立病院でのHALリハビリデータをインドネシア・フィリピン両政府に提出し、将来的な公的医療保険の適用や制度改正へと繋げます。広大な国土を持つ両国において、HALを活用した均一かつ全国を網羅するリハビリシステムの構築を目指し、次年度以降も継続的な検証・検討を行うことを本年度の指標として確約させます。特にインドネシアでは、国立脳神経病院での検証結果が保険適用に向けた大きな足掛かりとなる見込みです。</p>
実施後の結果	<ul style="list-style-type: none"> タイ、マレーシア、インドネシアで計14名のマスタートレーナーを認定。彼らを中心に、4カ国でベシットトレーニングを実施し、マレーシア20名、タイ20名、インドネシア25名、ベトナム15名の実務者を養成しました。 8月に開催された国際学会に合わせ、日本、インドネシア、マレーシアの専門家による協議を実施しました。HALの普及促進およびトレーニングのあり方について、国をまたいだ活発なディスカッションを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアでは11月にHALが脳卒中リハビリガイドラインに推奨治療として追記され、2月末には国民医療保険適用に向けた最終協議を予定しています。並行して稼働率向上を進め、月180名が受診可能な体制を構築します。タイでは1月に国立老年病院とMoUを締結し、2026年4月のトライアル開始に向けて研修を実施中です。既存施設を含めた受け入れ能力の拡大を図り、普及と運用の両面で進展を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアでは保健省と保険適用の協議を進めており、実現すれば公立30病院、民間約60病院へのHAL導入が予定されています。これにより国内の普及が飛躍的に加速する見通しです。タイでは国立老年病院に続き、地域基幹4施設でのトライアルを計画中。これらの治療実績に基づき、全国展開のスキームについて保健省と協議しています。両国とも、拠点の検証から全国的な普及・高度化に向けた重要な段階にあります。

今年度の対象国への事業インパクト

医療技術・機器の国際展開における事業インパクト

- 事業で紹介・導入し、国家計画／ガイドラインに採択された医療技術の数： 1
 - ・ 2025年11月にインドネシアにおける脳卒中のリハビリテーションのガイドラインにHALを含むrobotが推奨治療として記載された。

健康向上における事業インパクト

- 事業で育成した保健医療従事者(延べ数)： 236名
 - ・ 日本で研修(講義・実習等)を受けた研修員の合計数： 30名
 - ・ 対象国で研修(講義・実習等)を受けた研修員の合計数： 206名
 - ・ 研修(講義・実習等)を受けた研修員の合計数： 236名
 - ・ 過去に研修を受けて講師・専門家となった現地の講師・専門家の合計数： 9

これまでの成果

【令和7年度(R7)の主な活動実績、達成状況】

1. 専門トレーニングの実施

- ・ HALトレーニングコース(基礎・施設見学): 計85名(インドネシア30名、マレーシア20名、タイ20名、ベトナム15名)
- ・ マスタートレーナーコース: 計14名(インドネシア6名、マレーシア7名、タイ1名)

2. 国際プレゼンスの向上と普及啓発

- ・ アジア地域の国際学会(7月:大阪 World Social Security Forum、10月:クアラルンプール Regional Social Security Forum)にて、政府関係者等約50名を対象にサイバニクス治療の有用性を提示。

3. 現地セミナーおよびプロトコル構築

- ・ インドネシア保健省直轄病院(80名)および大手民間病院(70名)でのトレーニングセミナー開催。保健省と連携したHALプロトコル作成支援、およびマレーシアでの施設見学を通じた知見共有の実施。

今後の課題

1. 育成したトレーナーを中心に現地の実情にマッチした内容のベーシックトレーニングを展開させる。
2. インドネシア、タイの保健省とのコミュニケーションを継続させて各国の社会保障の制度にきちんと組み込んでいく。

将来の事業計画

令和7年度の事業が計画通り進展したことを受け、育成したマスタートレーナーを核とした「現地主導型の教育体制」への移行と、対象国のさらなる拡大を推進する。

1. 現地マスタートレーナーによる自律的な人材育成

令和7年度に育成したマスタートレーナーが講師となり、各国内でのベーシックトレーニングコースを展開する。

- ・ インドネシア：50名、タイ：20名、マレーシア：20名
(現地指導者の活用により、持続可能な育成基盤を構築する。)

2. 普及啓発および政策提言活動

インドネシアおよびタイにおいて、保健省管轄の医療機関や政府関係者を招聘したセミナー・研究会を開催する。サイバニクス治療の有用性を多角的に提示し、社会実装に向けた合意形成を図る。

3. 新規・重点対象国へのトレーニング展開

フィリピン、ベトナムをメインの対象として、各国のハブとなる人材を育成する。

- ・ ベーシックトレーニングコース：計15名、マスタートレーニングコース：計5名

4. インドネシアにおける標準的プロトコルの策定

インドネシア保健省と共同で「HAL治療プロトコル作成ワーキンググループ」を設置し、選抜されたメンバー(10名程度)に対して専門トレーニングを実施し、同国内における標準的な治療指針の策定を支援する。